サポート情報記事

ポリシーのバージョン履歴とドキュメントスナップショットを確認する方法

2026 © Vitextra SIA. 無断転載を禁じます。

免責事項

本免責事項の適用上、次のとおり定義します。

- **会社** (本免責事項では「当社」と表記します) とは、Vitextra SIA (Matīsa iela 61-25, Rīga, LV-1009, Latvia) を指します。
- **本ドキュメント**とは、ナレッジベースの記事を指します。
- **お客様**とは、本ドキュメントにアクセスする個人、または該当する場合は、その個人が本ドキュメントにアクセスまたは使用する際に代理となっている会社その他の法人を指します。
- **本 Web サイト**とは、https://vitextra.com からアクセスできる Vitextra を指します。

免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、一般的な情報提供のみを目的としています。

当社は、本ドキュメントの内容における誤りや脱漏について、一切責任を負いません。

いかなる場合も、契約上の訴訟、過失、その他の不法行為上の訴訟であるかを問わず、本ドキュメントの内容の使用に起因または関連して生じる、特別損害、直接損害、間接損害、結果的損害、付随的損害、またはその他一切の損害について、当社は責任を負いません。当社は、事前の通知なく、いつでも本ドキュメントの内容に追加、削除、または変更を行う権利を留保します。

誤りおよび脱漏に関する免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、関心のある事項に関する一般的な指針を示すことのみを目的としています。そのため、本ドキュメントの内容を最新かつ正確に保つために当社があらゆる予防措置を講じている場合でも、誤りが生じる可能性があります。また、法律、規則、規制は変化するため、本ドキュメントに記載されている情報に遅れ、脱漏、または不正確な点が含まれる場合があります。

当社は、誤りや脱漏、またはこの情報の使用によって得られた結果について、責任を負いません。

フェアユースに関する免責事項

当社は、著作権者から明示的な許可を得ていない著作物を使用する場合があります。当社は、批評、論評、ニュース報道、教育、学術研究、または調査の目的で、そのような資料を提供しています。

当社は、これが、米国著作権法第 107 条に規定されている、当該著作物の「フェアユース」にあたると考えています。

お客様が、フェアユースの範囲を超えて、ご自身の目的で本ドキュメントの著作物を使用することを希望される場合は、著作権者から許可を得る必要があります。

「自己責任での使用」に関する免責事項

本ドキュメントのすべての情報は、完全性、正確性、適時性、またはこの情報の使用によって得られる結果について何ら保証することなく、また、性能、商品性、特定目的への適合性に関する保証を含むがこれらに限定されない、明示または黙示を問わずいかなる種類の保証もなく、「現状のまま」提供されます。

当社は、本ドキュメントに記載されている情報に依拠して行われた判断や措置、または結果的損害、特別損害、もしくはこれらに類する損害について、たとえそのような損害の可能性について知らされていた場合でも、お客様またはその他の者に対して責任を負いません。

お問い合わせ

本免責事項についてご不明な点がある場合は、メール (support@vitextra.com) でお問い合わせください。

目次

ポリシーの履歴を開く 4

実際のスナップショットとメタデータファイルを区別する 5

リリースと受領書を比較する 6

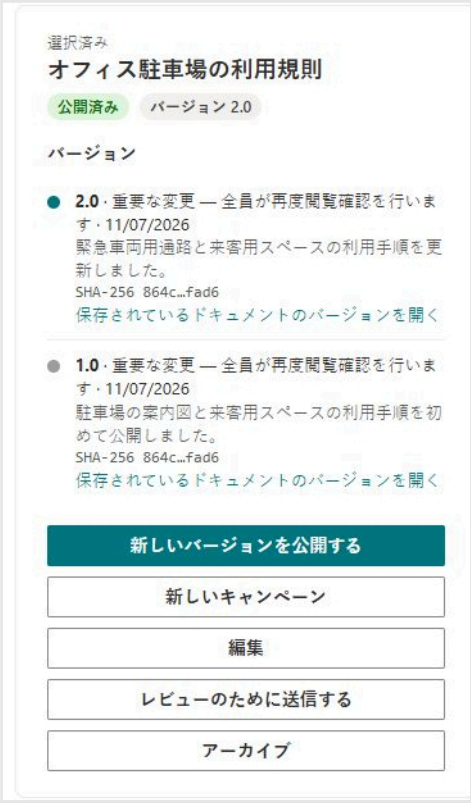
信頼できる公開履歴を維持する 6

バージョン履歴では、公開内容を識別し、実際のスナップショットがある場合は保持されたファイルを確認できます。改訂のレビュー、ソース変更警告の調査、確認記録のバージョンとポリシー公開履歴の比較に使用します。これは従業員の確認履歴とは異なります。

ポリシーの履歴を開く

1 ポリシーにアクセスできるアカウントでPolicy Managerを開きます。
2 必要に応じて検索やカテゴリの絞り込みを解除し、ポリシーの行を選択します。
3 詳細パネルで**バージョン**を探します。
4 各項目のバージョン番号、変更の種類、公開日、変更説明を確認します。
5 利用できる場合は、**保存されているドキュメントのバージョンを開く**で保存されたファイルを現在のソースとは別に確認します。

項目はレコードIDの降順で読み込まれ、最後に作成された項目が先頭になります。バージョン番号はラベルなので、独自の番号体系が数値順に並ぶとは考えないでください。バージョンの横に表示されるキャンペーン概要には該当するキャンペーンが表示されることがありますが、そのリリースのすべてのキャンペーンや従業員の確認を網羅するものではありません。



公開済みリリースと保持されたファイルの確認

実際のスナップショットとメタデータファイルを区別する

ハブと同一オリジンにある対応ドキュメントソースでは、公開時にファイルが`PolicyVersions`へコピーされます。保存されたファイルはスナップショットのリンクから確認できます。元のソースは元の場所に残り、その後は独立して変更される可能性があります。

ページなど、ドキュメントのコピーを伴わない公開では、実装はバージョンメタデータを保存する`.txt`ファイルを作成します。そのファイルへのリンクは、SharePointページや外部Webサイトの完全なアーカイブコピーではありません。外部コンテンツにはコンテンツフィンガープリントが付与されません。ページファイルは、表示されたページ全体のスナップショットがなくてもハッシュ化される場合があります。

履歴にはSHA-256値の短縮表示が含まれる場合があり、完全な値は関連する表示情報から確認できます。フィンガープリントは、ハッシュ処理で使用されたバイト列を識別します。変更の説明ではなく、該当するコンテンツを開く代わりにはな

りません。

リリースと受領書を比較する

受領書のポリシーとバージョンを起点に履歴からそのバージョンを探し、公開日、説明、利用できる場合は保存されたコンテンツを確認します。両方の記録にコンテンツハッシュがある場合は比較します。証跡レコードと現在の割り当ては区別してください。編集上の変更による引き継ぎでは、新たな確認イベントを作成せずに確認済み割り当てを新しいバージョンへ移せます。

警告

Policy Readerで古い割り当てを開いても、そのバージョンのスナップショットが自動的に表示されるわけではありません。リーダーは設定されたポリシーソースを使用します。バージョンラベルだけでは、表示中の文書が過去の正確な内容であることを証明できません。調査では、保持されたファイルを明示的に開き、関連するレコードの詳細を保存してください。

信頼できる公開履歴を維持する

一意のバージョン番号と役立つ変更概要を使用します。公開処理では上書きが許可されるため、番号を再使用するとスナップショットやメタデータファイルを上書きする可能性があります。過去の不整合を見えなくするためだけに、保存された証跡ファイルを編集したり置き換えたりしないでください。

期待したスナップショットがない場合は、ソースの種類とオリジン、公開が完了したか、アカウントがバージョンライブラリにアクセスできるかを確認します。一部のソースではメタデータのみのファイルが想定どおりですが、ドキュメントのコピー失敗は調査が必要です。改訂についてはKB10514. ポリシーの新しいバージョンを公開して確認を再度依頼する方法、従業員の受領書についてはKB10526. 過去のポリシー確認と受領書を表示する方法へ進んでください。